

ま き あ み

ぎ よ ぎ よ う

[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

## はじめに

この きょうざいは あなたがた がいこくの かたがたが  
にほんの 「まきあみ ぎょぎょう」の ぎのうじっしゅう  
を うけるときに やくだつように さくせい しました。

なれない にほんごの きょうざいですが みなさんが  
わかりやすいように 「まきあみ ぎょぎょう」 について  
やさしく せつめいして あります。

もし わからない ところが あれば ぎのうじっしゅう  
しどういんや にほんじんの のりくみんに しつもんして  
きそてきな ちしきを いちにちも はやく みに つけて  
ください

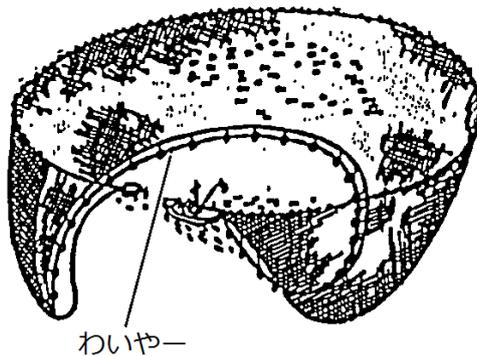
## もくじ

1. まきあみ ぎよぎょう
2. まきあみで とる さかな
3. まきあみ ぎよぎょうの ぎよじょうと ぎよき
4. まきあみ ぎよせん
5. しゅっこうから みずあげまで
6. 2そうまき まきあみ ぎよせん
7. まきあみの ぎよろうせつびと ぎよぐ
8. さぎょうじょうの ちゅうい

## 1. まきあみ ぎよぎょう

まきあみは ほそながい あみで さかなの むれを まるく とりかこんで とります。

したの えの ように さかなを とりかこんだら あみの したにある わいやーを しめて さかなが にげないようにします。



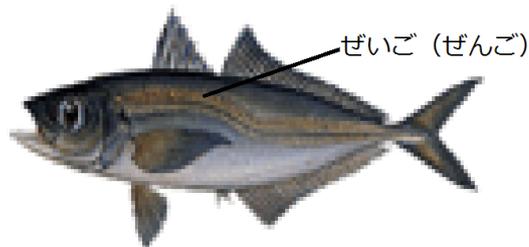
## 2. まきあみで とる さかな

(1) ひがしにほんでは おもに いわし さばを とります。

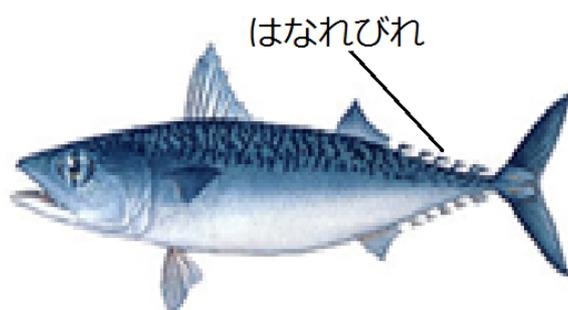
このほか かつお まぐろを とることも あります。

(2) にしにほんでは おもに あじ さばを とります。

このほか さわら かます ぶりを とることも  
・あじ からだの いろは うすい きいろで 「ぜいご (ぜんご)」と  
いう かたい うろこが あります。  
おおきいものは 30センチめーとる (30 cm)に なります。



- ・さば せなかに くろい もようが あります。  
せなかの うしろには 「はなれびれ」が あります。  
おおきいものは 50センチメートル(50cm)に なります。  
すぐに わるくなるので せんどを たもつことが  
たいせつです。



- ・いわし からだが やわらかく うろこが とれやすい さかなです。  
おおきいものは 20センチメートル(20cm) いじょうに  
なります。



### 3. ぎょぐ (さかなを とる どうぐ)

- (1) ひがしにほんでは ちばけんから ほっかいどうまでの たいへいよう  
がわが おもな ぎょじょうです。
- (2) にしにほんの にほんかいがわでは とっとりけん しまねけんの  
さんいんおきが おもな ぎょじょうです。
- (3) きゅうしゅうでは ひがししなかい つしま・ごとうおきが おもな  
ぎょじょうです。
- (4) にしにほんの まきあみ ぎょじょうは よる しゅうぎょとうを  
つかって そうぎょうします。

(5) ひがしにほんでは しゅうぎょとうを つかわないで そうぎょうしま  
す。

(6) まきあみ ぎょぎょうでは いちねんじゅう さかなを とっています  
が 1ねんに 1かい ぎょせんの せいびや のりくみいんの きゅう  
ようのため そうぎょうを やすみます。

(7) ひがしにほんの まきあみは げんそくとして まいしゅう 1かい  
そうぎょうを やすみます。

(8) にしにほんの まきあみは まいつき 1かい まんげつの ころに  
そうぎょうを やすみます。



#### 4. まきあみ ぎよせん

(1) まきあみ ぎよぎょうでは あみぶね (ほんせん) ひぶね (ひがしに  
ほんでは たんさくせん) うんぱんせんが 1くみ (せんだん) となっ  
て そうぎょうします。

(2) まきあみの せんだん

あみぶね	1せき
ひぶね (または たんさくせん)	2せき
うんぱんせん	2～3せき

(3) せんだんの すべての ふねが ぎよぐんたんちきを もち さかなの  
むれを さがします。

(4) さかなの むれを みつけたら あみぶねは あみで さかなの  
むれを まいて とります。

(5) ひぶねは さかなの むれが みつかったら しゅうぎょとうで  
さかなを あつめます。

(6) うんぱんせんは さかなの むれを みつけるほか あみぶねが  
とった さかなを つみ みなとに はこんで みずあげします。

#### 5. しゅっこうから みずあげまで

(1) しゅっこうの じゅんぴ

①あみぶね ひぶね (または たんさくせん) うんぱんせん とともに  
あぶら たべもの みずなどを つみこみます。

②あみぶねは ぎよじょうで すぐに あみいれが できるように  
あみを きちんと たたんで つみます。

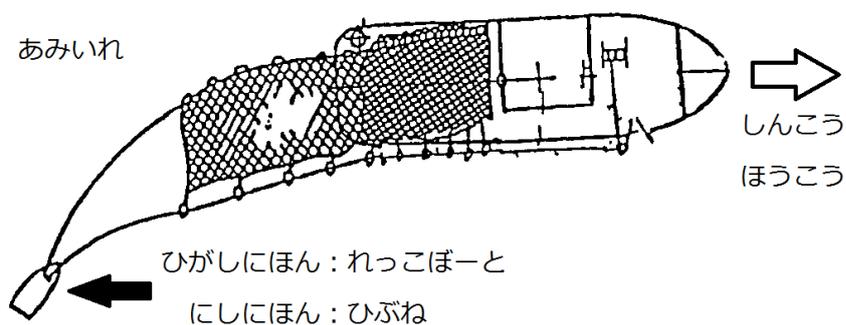
③うんぱんせんには さかなの せんどを たもつ ために つかう  
こまかく くださいた こおりを つみます。

(2) ぎょぐんの たんさくから そうぎょう みずあげまで

①みなとを であと せんだんの すべての ふねが  
ぎょぐんたんちきで さかなの むれを さがします。

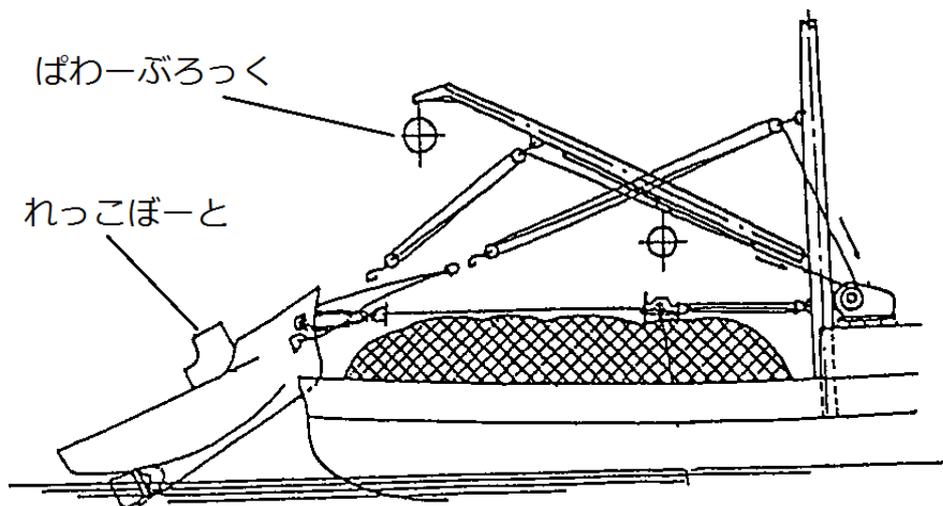
②にしにほんの まきあみの ばあい さかなの むれを みつけたら  
ひぶねは しゅうぎょうとうを つけて さかなを あつめます。

③あみいれ

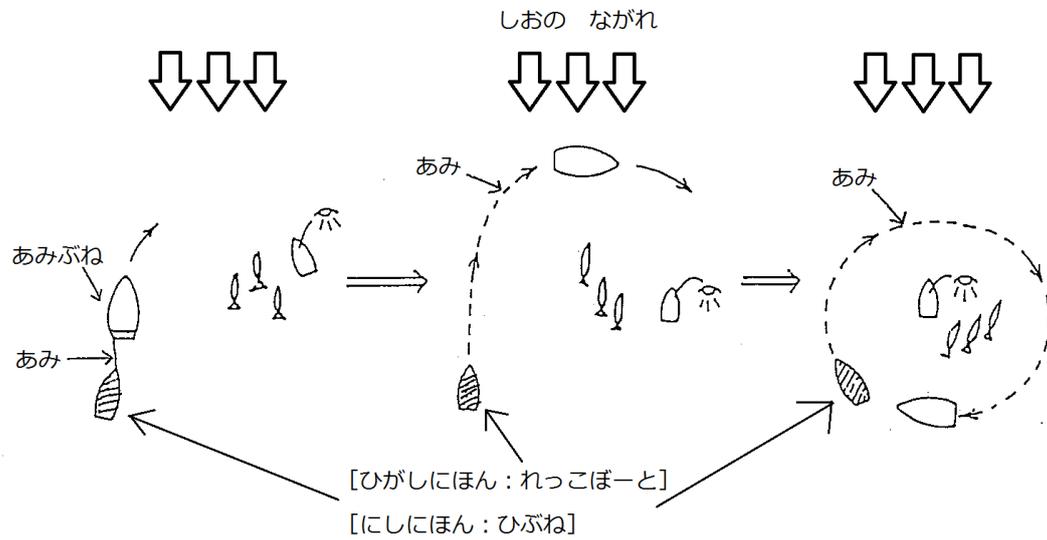


・ひがしにほんの まきあみ そうぎょう  
あみぶねの とも (せんび) に つんだ れっこぼーとが  
まきあみの はじを つかみ、 あみぶねが はしりながら あみを  
いれていきます。

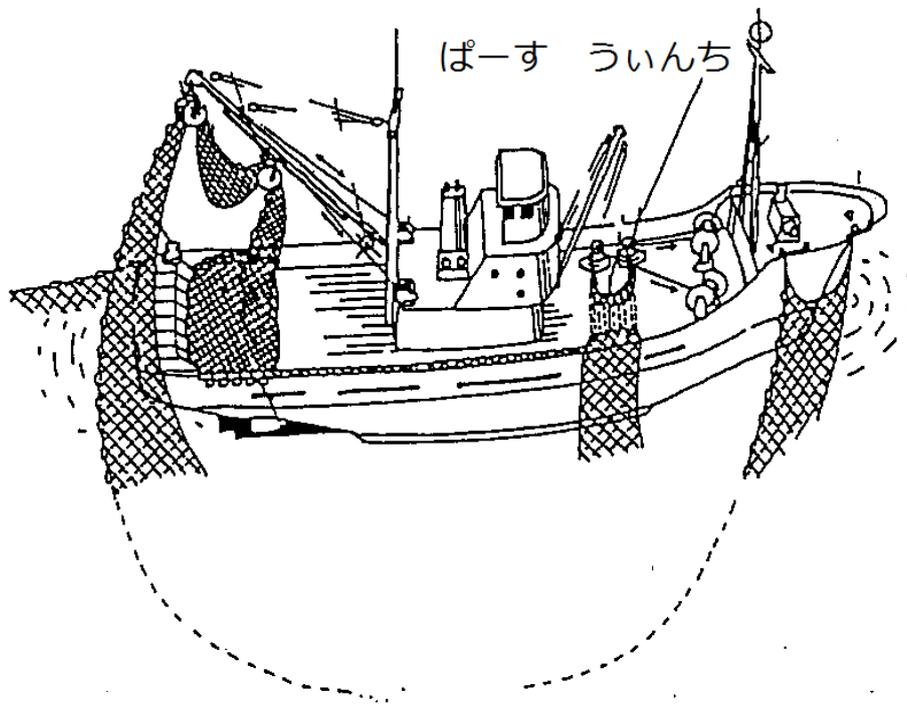
・にしにほんの まきあみ そうぎょう  
ひぶねが まきあみの はじを つかみ、  
あみぶねが はしりながら あみを いれていきます。



④あみぶねは しおの ながれを たしかめながら しおの  
ながれてくる ほうこうに むかって、 ぎょぐんの まえを  
とりまくように あみを いれます。



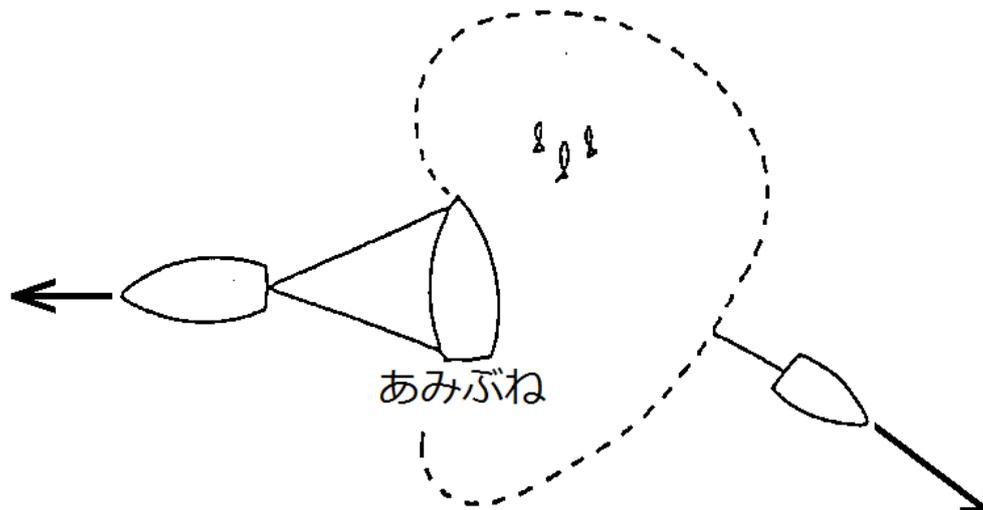
⑤かんぜんに ギョぐんを かこんだら まきあみの したにある  
わいヤーを ぱーすういんちで ひいて、 あみの そこを とじます。  
これを 「かんまきさぎょう」と いいます。



⑥あみを あげるまでは 2～3じかん かかります。

そのあいだに しおの ながれで あみの かたち が くずれそうに なったときは、ほかの ふねが あみぶねや あみを ひいて あみの かたちを なおします。

このさぎょうを 「うらこぎ」と いいます。

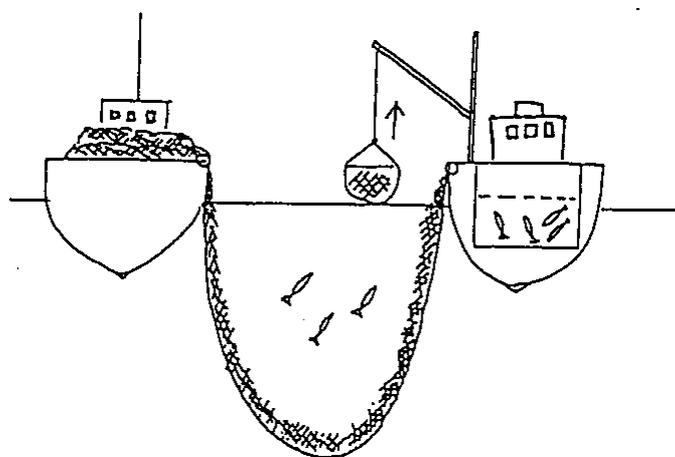


⑦あみぶねは ばわーろっくや ねっとほーらーを つかって あみを とりこみます。

⑧あみを しぼったら うんぱんせんを あみに よせて うんぱんせんの ぎょそうの なかに さかなを たもあみで すくい とりこんで いきます。

あみぶね

うんぱんせん



⑨うんぱんせんは つみこんでくる くだいた こおりで あらかじめ  
こおりみずを つくっておき ぎょそうの なかで さかなの せんどを  
たもちます。

さかなを いかしたまま もってくることも あります。

⑩うんぱんせんは さかなの とりこみさぎょうが おわると いちばの  
ある みなとに はいって みずあげを します。

⑪ほかの ふねは 1かいの そうぎょうが おわると つぎの  
さかなの むれを さがします。

6. 2そうまき まきあみ ぎよせん

2そうまきの せんだん こうせい

あみぶねは 2せきで ふつう さげん (ひだりげん) に  
さいどろーらーの ついでに ふねを まあみぶね  
うげん (みぎげん) に さいどろーらーの ついでに ふねを  
さかあみぶねと いいます。

ぎよろうちょうは ふつう まあみぶねに のっています。

2せきの ふねの おおきさは おなじです。

まあみぶね	1せき
さかあみぶね	1せき
うんぱんせん (ぎよたんせん)	3せき

2せきの あみぶねは、すぐ とうもう (あみいれ) が できるように  
きちんと たたんで あみを つみ、みぎ ひだりの あみは  
つなぎあわせ (せばり) 2せきの ふねの あいだに たらして  
はしります。

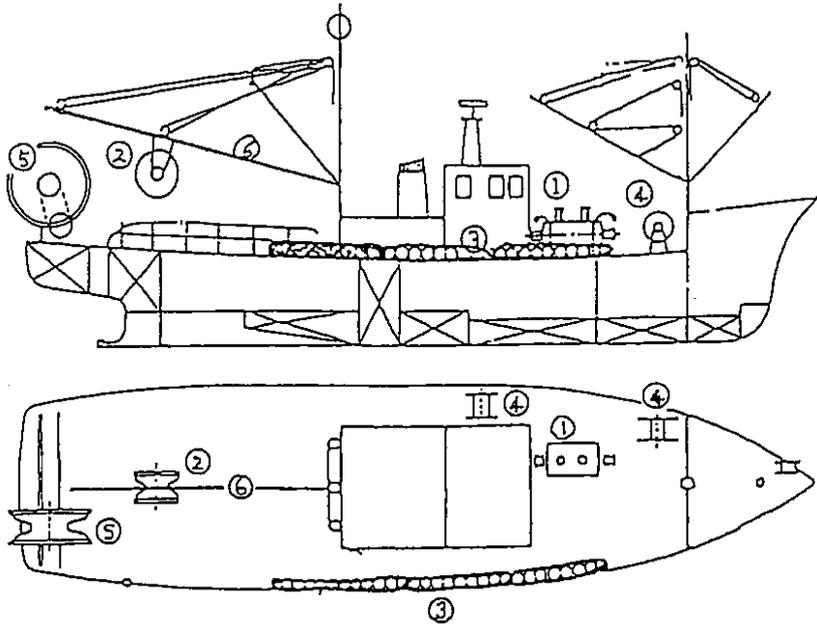
ぎよぐんを はっけんしたら 2せきの あみぶねは おもてもやいを  
はなし みぎと ひだりに わかれて あみを 入れていきます。

まあみぶねと さかあみぶねは ぎよぐん (さかなの むれ) を  
ぎょうがわから とりかこんで あみを 入れます。



7. まきあみの ぎょうせつびと ぎょぐ

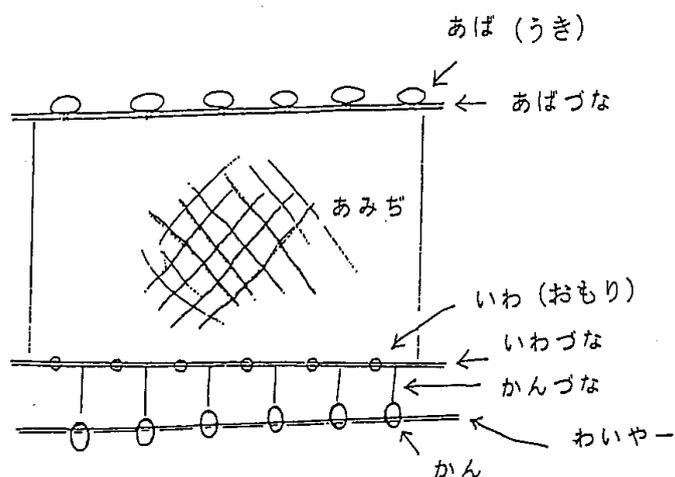
【あみぶねの ぎょうせつび】



- ① ぱーす ういんち
- ② ぱわー ぶろっく
- ③ さいど ろーらー
- ④ わいやー りーる
- ⑤ ねっと ほーらー
- ⑥ でりっく

- |              |                                             |
|--------------|---------------------------------------------|
| (1) ぱーす ういんち | まきあみの したにある わいやーを ひく ういんち です。               |
| (2) ぱわー ぶろっく | あみを つりあげる ぶろっくで でりっくに ついています。               |
| (3) さいど ろーらー | ふねの よこに あって さかなを とりこむときに あみを ひきあげる ろーらーです。  |
| (4) わいやー りーる | ぱーす ういんちが ひいた まきあみの したにある わいやーを まきとる りーるです。 |
| (5) ねっと ほーらー | ふねの とも (せんび) から あみを ひきあげる ろーらーです。           |

【まきあみの ぎょぐ】



- (1) あばづな      あみの うえにある あみを うかすための あば (うき) の ついた つなです。
- (2) いわづな      あみの したにある あみを しずめるための いわ (おもり) の ついた つなです。
- (3) わいヤー      あみの そこを しめるための わいヤーで かの なかを とおしてあります。
- (4) かんづな      かんを いわづなに むすぶ みじかい ろーぷです。

【ぶりっじの きかい】

- (1) ぎょぐんたんちき      ふねの したにいる さかなの むれを さがす きかいです。
- (2) ねっとぞんで      まきあみの ふかさ しずむはやさ かいすい の おんどを はかる きかいです。
- (3) そなー      ふねのまえや まわりにいる さかなの むれを さがす きかいです。
- (4) じーびーえす (GPS)      ふねの いちを せいかくに する きかいです。

## 8. さぎょうじょうの ちゅうい

- (1) あみぶねには せまいところに きかいが おおくあるので  
はさまれたりしないように じゅうぶん ちゅういします。
- (2) あみいれの ときは うごいている あみや ろーぷに  
ちかづかないように します。
- (3) あみあげの ときは ぬれた おもい あみを あつかうので  
からだの ばらんすを くずさぬように あしもとを じゅうぶん  
ちゅういします。
- (4) うんぱんせんに あみから さかなを とりこむときに すべって  
ぎょそうや あみの なかに おちないよう ちゅういします。  
さかなの たくさん はいった たもあみが うごいてくるので  
はねられないよう ちゅういします。
- (5) べつの ふねへ のりうつるときは じゅうぶん あんぜんを  
たしかめてから うつります。